

最強の投資手法「スパンモデル」「スーパーボリンジャー」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、「日足スーパーボリンジャー」と「週足スーパーボリンジャー」に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 2 月 9 日終値時点での判断です。内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。(尚、本レポートでは、スパンモデルに関するレポートは省略している点、ご了承ください)

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=緩やかな下落トレンド、調整の反騰局面継続の可能性は残す

○遅行スパン=陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略=終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドと判断。一方、終値が-2のラインの下方で引けないかぎり、調整の反騰局面継続の可能性は残していると読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=レンジ相場、ブル・ベアの分岐点(ドル本格下落トレンド入りするか、それとも、反転上昇に向かうかの瀬戸際)

○遅行スパン＝陰転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、-1ラインと-3ラインの間でのレンジ相場と判断。レンジトレーディング。相場の放れ待ちとも読む。尚、週足終値が、改めて-2ラインの下方で引けたことで、ドル下落リスクが高まっているとも読める。

■ユーロドル

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観＝調整の反落局面継続中

○遅行スパン＝陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が+1ラインの下方を推移するかぎり、調整の反落局面と判断。終値がセンターラインの下方で引けており、調整が本格化していると読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観＝本格上昇トレンド継続中

○遅行スパン＝陽転継続しており、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が+1ラインの上方を推移するかぎり、本格上昇トレンドと判断。バンド幅の拡大傾向が続いており、トレンド性の強さを示唆している。尚、週足終値が+2ラインの下方で引けたことで、「走る相場」は一旦終了。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=レンジ相場、相場の放れ待ち

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、-1ラインと-3ラインの間でのレンジ相場と判断。尚、終値が-1ラインの下方を推移し続け、遅行スパンが陰転し、バンド幅が拡大傾向に向かうと、本格下落トレンド入りの可能性が高まる点、注意しておきたい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=本格的な調整の反落局面

○遅行スパン=陽転継続しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=週足終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、本格的な調整の反落局面と判断する。

■豪ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=本格下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が-1ラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。一方、終値が同ラインの上方で引けると、調整の反騰局面入りする可能性が高まる。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観＝レンジ相場。-1ラインと-3ラインの間をコアとするレンジ相場

○遅行スパン＝陰転してきており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝レンジトレーディング。相場の放れ待ち。今後、終値が-1ラインの下方を推移し続け、バンド幅が拡大傾向となると、本格下落トレンド入りする可能性が高まる点、注意しておきたい。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、センターラインと-3ラインの間でのレンジ相場と判断。尚、今後、遅行スパンが陰転し続け、終値が-1ラインの下方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が続くと、本格下落トレンド入りの可能性が高まる点、注意しておきたい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=調整の反落局面、レンジ相場

○遅行スパン=陽転継続しており、基調として、買い優勢

○トレンド判断と戦略=終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、調整の反落局面と判断。
尚、目先、+1のラインと-1のラインの間でのレンジ相場とも読む。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。